

NETWORK / IP CAMERA

取扱い説明書

目次

はじめに

商品の特徴

付属品

製品概要

1.3.1 正面図

1.3.2 インターフェイス

1.4 必要環境

1.5 ハードウェア設定

1.6 ソフトウェアのインストール

2. ソフトウェアの操作

2.1 IPカメラツール

2.2 カメラログイン

2.3 ビジター

2.4 オペレーター

2.5 アドミニストレーター

2.5.1 マルチデバイス設定

2.5.2 ネットワーク設定

3. 使い方

3.1 まず始めに

3.2 Wi-Fi設定

3.3 ADSL回線でのインターネット

3.4 ルーター使用でのインターネット

3.5 固定IPユーザー

3.6 スペック

はじめに

IPCAM はワイヤレス IP カメラの統合品です。

ネットワークを介した品質の高いデジタルビデオカメラで、インターネットやローカルなどのどこからでも、鮮明な映像をお送りすることができます。

IPCAMの基本的な機能はIPネットワーク上から映像を送信することです。高品質の映像が、MJPEG 圧縮ツールにより LAN/WAN を通して 30fps で送られます。

IPCAM は TCP/IP スタandard に基づいています。内にインターネットエクスプローラーをサポートするウェブサーバーが搭載されています。そのため、デバイスの管理・メンテナンスはよりシンプルなものになっております。ネットワークを利用した遠隔設定・スタートアップ・ファームウェアのアップグレードができるのです。

自宅や会社などに IPCAM を置いて使うこともできます。ウェブサイト上からクリックするだけで、映像や IPCAM をコントロールすることができるのです。

※IP カメラの使い方は、3.1 をご覧ください。

商品の特徴

強力ハイスピードビデオプロトコルプロセッサー

1/4CMOS センサー

300K ピクセル

暗視赤外線機能（範囲：5～8m）

MJPEG 圧縮方式

マルチレベルユーザー管理・パスワード定義

内臓ウェブサーバー

Wi-Fi/802.11/b/g/n モバイル対応

ダイナミック IP (DDNS)、UPnP LAN、ADSL、Cable Modem 対応

動き検出時のアラーム

スナップショット対応

マルチネットワークプロトコル対応：HTTP/TCP/IP/UDP/SMTP/DDNS/SNTP/DHCP/FTP

遠隔システムアップデート対応

高度な詳細

マルチプロトコルサポート

IPCAM は TCP/IP, SMTP, HTTP といったマルチプロトコルに対応しております。自動的にイメージをメールボックスに送る設定ができます。

動き検出

内部動体検知システム、または外部センサーから映像録画を実行し、映像を送信することができます。

DDNS サポート

IPCAM はダイナミック DNS を用いていますので、ADSL と IP が頻繁に変わる状態で IPCAM を使っていただくことが望ましいです。

高度な管理設定

認証されたユーザーのみが IP カメラからのリアルタイムでの映像にアクセスすることができます。

1.2 付属品

IP カメラ x1

直流電源装置 x1

CD x1 (ワイヤレス IP カメラ CMS, IP カメラツール、説明書)

設置用ブラケット x1

1.3 製品概要

1.3.1 正面図

1. 光感知 外光を感じ取り、赤外線 LED を自動で点灯します。

2. 赤外線 LED 搭載

3. ネットワーク LED ランプ

ネットワーク LED ランプは以下を示します。

ゆっくり点灯 (約 1 秒ごとの点灯) : ネットワークを検索中

チカチカと点灯 (1 秒間に 2 回程の点灯) : ネットワークを使用中

素早く点灯 (1 秒間に 3, 4 回程の点灯) : ワイヤレスネットワークを使用中

4. レンズ CMOS センサー。焦点幅を手動で調整できます。

5. 内臓マイク

1.3.2 インターフェイス

LAN : RJ-45/10-100 BaseT

DC5V : 5V/2A 電源供給

リセットボタン : RESET BUTTON を 5 秒間押し続けてください。電源ボタンを離すと IP カメラは初期設定に戻ります。

1.4 必要環境

下記のシステム環境が必要になります。

CPU : 2.06GHZ 以上 メモリー : 256M 以上

ネットワークカード : 10M 以上 ディスプレイカード : 64M 以上

推奨オペレーティングシステム : Windows2000, WindowsXP

1.5 ハードウェア設定

下記の手順に沿って、カメラハードウェアのセットアップを行ってください。カメラを正しく起動させるため、手順を守ってください。

ネットワークケーブルをカメラに差し込み、Cable/DSL ルーターに接続してください。

電源アダプターをカメラに差し込んでください。(付属の IPCAM 用電源アダプター以外は使用しないでください。故障の恐れがあります。)

30 秒程たつと、IP カメラツールに IP アドレスが表示されます。(詳細は 2.1 をご覧ください。)

2 ソフトウェアの操作

2.1 IP カメラツール

CD を開くと、IPcamera.exe というプログラムがあります。

IPcamera.exe をダブルクリックし、IPcameraTool を起動します。

ソフトウェアは LAN を通して自動的に IP アドレスを検索します。

表示された IP アドレスをダブルクリックしていただくと、ID とパスワードを確認してきますので、入力するとカメラ映像に接続します。**初期設定 ID : admin パスワード : なし**

1) LAN を通して見つかる IP カメラがない場合。約 1 分間の検索後、演出結果フィールドに “not found IP Server” の表示が現れ、自動的にプログラムが終了します。

2) IP カメラは LAN でインストールされてきています。すべての IP カメラがリストされ、トータル数が演出結果フィールドに現れます。

3) LAN でインストールされた IP カメラは監視しているパソコンと同じサブネットを共有することはありません。以下の表示が現れます。“サブネットが合いません。ダブルクリッ

クで変更してください) 左クリックで表示をクリックし、右クリックで Network Configuration をクリックしてください。LAN と同様のサブネットへカメラの IP アドレスをセットします。

5つの選択肢

IP カメラリストを選び、右クリックをします。すると、ベーシックプロパティ、ネットワーク、アップグレードファームウェア、カメラリストの消去、フラッシュ ARP Buffer という5つの選択肢が出てきます。

ベーシックプロパティ

ベーシックプロパティでは、デバイス ID、システムファームウェアバージョン、ウェブ UI バージョンといったデバイスの情報を知ることができます。

ネットワーク設定

このページでは、ネットワークパラメーターの設定ができます。

IP アドレス : IP アドレスを入力し、ゲートウェイと同様のサブネットであることを確認してください。

マスク : 初期設定のサブネットマスクは 255.255.255.0 になっています。

ゲートウェイ : パソコンの IP アドレスと同様のサブネットであることを確認してください。

DNS : DNS サービスプロバイダーの IP アドレス

ポート : LAN ポートの割り当て。通常は 80 になっています。

ユーザー&パスワード : 初期設定では、ユーザーネーム : admin パスワード : 無し

DHCP チェックボックス : ダイナミック設定認証の使用に、デバイスは DHCP サーバーから IP を取得します。通常はルーター・またはモデムを介します。または、手動で IP アドレスを入力しなければなりません。

※ネットが合わない場合、ダブルクリックで IP カメラの IP アドレスをもう一度セットしてください。

アップグレードファームウェア

正しいユーザーとパスワードを入力し、ファームウェアとウェブ UI をアップグレードしてください。

カメラリストを消去

手動でカメラリストを消去できます。

フラッシュ ARP Buffer

デバイスの有線ネットワークとワイヤレスネットワークが両方とも固定 IP アドレスであった場合、カメラ IP の検索はできてもカメラウェブページが開けないおそれがあります。その場合はフラッシュ ARP Buffer を試してみてください。

2.2 カメラログイン

IP Camera Tool または IE を通して、カメラにアクセスすることができます。

IP カメラリストの IP アドレスをダブルクリックします。IE が自動的に開き、カメラログインページが表示されます。

IE ブラウザから直接カメラにアクセスできます。カメラの IP アドレスを直接打ち込んでください。

カメラログインページがポップアップされます。

アカウントとパスワードをログインページに入力します。デフォルトでは、ユーザーネーム : admin パスワード : なし となっています。“Sign in” をクリックし、映像ページに入ることができます。ユーザーネームとパスワードは、アドミニストレーター、オペレーター、ビジターにセットできます。

2.3 ビジター

・アイコンが光っている場合、初期のルートは動体検知です。

4 画面で見たい場合は、4 画面のアイコンを押してください。

OSD : ビデオに日付と時間を表示させます。OSD 機能ははずすことも、OSD カラーを変更することもできます。

スナップショット : カメラマークのアイコンをおすと、スナップショットがとれます。

録画 : 録画マークのアイコンを押すと録画がはじまり、■で録画がストップします。

※録画ファイルの名前 : device Alias_Current time.Avi

例 : IPCAM_20110311134442.Avi

(2011/3/11 13 : 44 : 42 に録画が止まったことを表します。)

2.4 オペレーター

オペレーター・またはアドミニストレーターでログインした際、For Operator に入ることができます。

Direction control : 矢印をクリックして、違う方向の映像が得られます。

- ・上下運動
- ・左右運動
- ・運動停止

Flip : 画像の反転

Mirror : ミラーイメージ

Resolution : VGA (640x480) / QVGA (320x240)

Work mode : 50Hz/60Hz/Outdoor

2.5 アドミニストレーター

アドミニストレーターでログインした場合、For Administrator が使用できます。

Device Info : デバイス ID, ファームウェア、内臓ウェブ UI が確認できます。

Alias Settings : 任意の名前を入力できます。

Data&Time Settings : 日付と時刻の設定ができます。

Users Settings : アカウントを8個まで作成できます。ここでは8人のユーザーがユーザーネームとパスワードを、アドミニストレーター、オペレーター、またはビジターとして作成できます。

- Visitor : このモードでは、映像の閲覧のみが可能です。
- Operator : カメラの方向を調節でき、いくつかのパラメーターを変えることができます。
- Administrator : IP カメラの高度な設定ができます。

UpnP Settings : IP カメラにアクセスした際、UpnP ステータスになっているかを確認できます。

Upgrade Device Firmware : デバイスファームウェアと内臓ファームウェアのアップデートを行います。

Restore Factory Settings : 重大なエラーが発生した際に、初期設定へ復元します。

Reboot Device : デバイスを再起動させます。

Back : モニターページへと戻ります。

2.5.1 マルチデバイス設定

- LAN にカメラを接続する。

マルチデバイス設定では、全てのデバイスを LAN から検索できます。初期のデバイスは、デバイスのデフォルトになっています。閲覧用のカメラリストを LAN に追加していくことができます。同時に4つまでの IP カメラをサポートすることができます。

“The 2ND Device” をクリックし、“Device List in Lan” の中のアイテムをダブルクリックしてください。Alias, Host, Http Port が自動的に埋められます。ユーザーネームとパスワードを入力し、“add” をクリックしてください。同様の手順で、カメラを追加できます。

- インターネットからカメラを増やす

はじめに、追加されるカメラが IP アドレス、または DDNS ドメインでインターネットにアクセスできるかどうかを確認してください。

例 : <http://202.96.133.134:9008>, <http://IPCAM.dyndns.org:9008>

Host:202.96.133.134 port:9008, Host:IPCAM.dyndns.org Http port:9008

ユーザーネームとパスワードを入力し、“add” をクリックしてください。同様の手順で カメラを追加できます。

2.5.2 ネットワーク設定

● 基本ネットワーク設定

IP カメラに接続されているルーターに DHCP 機能がついている場合、“Obtain IP from DHCP Server” を選ぶことができ、手動でネットワークパラメーターを入力することができます。

Http Port: 大体の場合においては、80 に設定しておけば問題はありません。ですが、インターネットサービスプロバイダがポートをブロックしてしまう場合、他のポートナンバーをいれなければなりません。(0 から 65535 の間で、ゲートウェイとは違うものをいれてください) 8080, 85, 888 などといった数字です。

● ワイヤレス LAN 設定

ワイヤレスルーターのワイヤレスネット設定ページに入ると、SSID, Channel, Encryption, Authenticaion があります。アドミニスターとしてログインし、Wireless Lan Settings ページを開きルーターの設定と同じように書き込んでください。デバイスネットワークケーブルを取り、ワイヤレスネットが使えるようになります。

● ADSL 設定

ADSL を通してインターネットにつなげた場合、ISP から手に入れた ADSL ユーザーネームとパスワードを入力することができます。” submit” アイコンをクリックし、インターネットにつなげることができます。

3. 使い方

3.1 まずはじめに

カメラの取り付けが正しくできた後、こちらをご覧ください。

IPカメラの電源をいれると、自動的にカメラが動き、最後に止まります。

- 1) ネットワークケーブルを使い、IPカメラをLANに接続してください。
- 2) IP Camera Tool に入り、基本設定をします。(詳細 : 2.1)
- 3) 結果フィールドにカメラのIPアドレスがリストされたら、基本設定の完了です。
- 4) 初めて見る場合には、ICのセーフティープロパティの設定をしてください。(詳細 : 4.1.4)
- 5) カメラログインをしてください。(詳細 : 2.2)
- 6) ビジター、オペレーター、アドミニストレーションとしてLANからIPカメラを使うことができますようになります。

3.2 Wi-Fi 設定

1) IP カメラでワイヤレス機能を使うためには、Linksys のようなワイヤレスルーターが必要になります。

2) ワイヤレスルーターセットアップページに入ります。そこから SSID, Channel, Security Way (NONE, WEP), Authentication Type, encryption を確認します。

3) Wirelyss Lan Settings に入り、ルーターから取得した情報を打ち込みます。Submit をクリックし、デバイスを再起動させます。

4) デバイスが起動した後、30 秒ほど待ち、電源プラグをぬきます。

5) 電源プラグをもう一度いれます。(インターネットにつながっていないことを確認してください)

6) 30 秒後、LED ライトがチカチカと光ったら、WiFi モードになっています。

7) カメラログインをしてください。

3.3 ADSL 回線でのインターネット接続

1) ネットワークケーブルを使い、IP カメラをパソコンに接続します。

2) IP Camera Tool に入り、基本設定をします。(詳細: 2.1)

3) アドミニストレーションモードでカメラホームページにログインします。ADSL Settings ページにはいり、ADSL ユーザーネームとパスワードを入力します。

4) 同時に DDNS サービスを有効にし、Submit をクリックし、デバイスを再起動します(詳細: 2.5.3)

5) IP カメラを ADSL に直接つなぎ、ドメイン名を使ってインターネットからカメラにアクセスできるようになります。

3.4 ルーター使用でのインターネット接続

ADSL と共有したルーターを使い、インターネットにアクセスします。ルーターがダイヤルアップインターネットアクセス用にセットされている場合、IP カメラに ADSL ダイアルアップアカウントとパスワードをセットする必要はありません。

1) ネットワークケーブルを使い、IP カメラを LAN に接続してください。

2) IP Camera Tool に入り、基本設定をします。(詳細: 2.1)

3) アドミニストレーションモードでカメラホームページにログインします。

4) DDNS Settings ページに入り、DDNS サービスを有効にします。Submit をクリックし、デバイスを再起動させます。

5) ドメイン名でインターネットからカメラにアクセスできるようになります。

3.5 固定 IP ユーザー

固定 IP ユーザーは遠隔操作の際 DDNS を必要としません。LAN での IP カメラ設定が終われば、WAN IP よりインターネットから直接カメラにアクセスできます。WAN IP を取得するには、下記3つの方法があります。

メールからインターネット IP ファンクションを送る

メールボックスを設定すると、インターネット IP やポートが変わった際にメールで通知がきます。(詳細 : 2.5.4 E-mail and FTP service)

ウェブサイトから WAN IP を入手する。

<http://www.whatismyip.com> こちらのウェブサイトから、現在の WAN IP を取得できます。

ルーターから WAN IP を入手する。

- 1) ルーターの IP アドレス (LAN ゲートウェイアドレス)、ユーザーネーム、パスワードを取得し、ネットワークアドミニストレーターよりルーターにログインします。
- 2) ルーターの LANIP アドレスを、IE のアドレスバーに入力します。Status ページを開き、ルーターの WAN アドレスを取得してください。

インターネットから IP カメラにアクセスする。

WAN IP アドレスとポートナンバーを IE に入力し、IP カメラにアクセスできます。

例) [Http://119.123.203.237:9000](http://119.123.203.237:9000)

※ポートマッピングが先に必要となります。ポートマッピングのやり方には2通りあります。

- ルーターの設定ページに入り、UPNP 機能を有効にします。IPCAM” Upnp Settings” に入り、UPNP を有効にし、” Upnp success” の表示を確認します。
- ルーターにバーチャルマップ機能がある場合は、ルーター設定ページに入り、バーチャルマップリストに IPCAM の IP とポートを追加してください。

3.6 スペック

アイテム		IPCAM
イメージセンサー	撮影素子	4/1CMOS
	解像度	640 × 480
	レンズ	F:3.6mm F:2.0 (赤外線レンズ)
	最低照度	0.5Lux
レンズ	レンズタイプ	ガラスレンズ
	視野角	67度
ビデオ	画像圧縮	MJPEG
	フレームレート	15fps (VGA)、30fps (QVGA)
	解像度	640 × 480 (VGA) , 320 × 240 (QVGA)
	Flip Mirror Images	Vertical/Horizontal
	光周波数	50Hz、60Hz
	ビデオパラメーター	明るさ、コントラスト
communication	Ethernet	One 10/100Mbps RJ-45
	プロトコル	HTTP, FTP, TCP/IP, UDP, SMTP, DHCP, PPPoE, DDNS, UPnP
	Wireless standard	IEEE 802.11b/g/n
	Data Rate	802.11b:11Mbps (Max) 802.11g:54Mbps (Max) 802.11n:150Mbps (Max)
	Wireless security	64/128-bit WEP Encryption
詳細	赤外線LED	12個 夜間照射距離 8m
	寸法	85(L) x 85(W) x 32mm(H)
	Gross Weight	705g
	Net Weight	130.5g
電源	電源アダプタ	DC5V/2.0A
	消費電力	5ワット